

横浜港におけるアカカミアリの確認について

令和 2 年 7 月 30 日(木)に、南本牧ふ頭で発見されたアリ（約 20 個体）について、環境省が依頼した専門家による種の同定の結果、特定外来生物であるアカカミアリと確認されました。

確認地点周辺には、殺虫餌（ベイト剤）を設置しています。

引き続き、環境省等と協力して、アカカミアリが確認された地点を中心に調査を実施しています。なお、当該アリが確認された場所は、コンテナヤード内であり、一般の方が立ち入ることができないエリアです。また、本件に関して人的被害はありません。

1 経緯

- 6/22～ 6/19 に川崎市内でコンテナ内からヒアリが発見されたことに伴い、当該コンテナが
7/30 陸揚げされた南本牧ふ頭のコンテナヤードの調査を開始。
6/29～30 にヒアリと疑わしいアリが発見され、7/3 に環境省が依頼した専門家によりヒアリと確認。（7/3 横浜市ホームページ公表）
当該コンテナが置かれた場所周辺において、環境省等と協力してトラップ及び殺虫餌（ベイト剤）の設置範囲を拡大するなど、調査及び防除を継続。
8/3 7/30 にヒアリと疑わしいアリが発見された箇所を環境省及び横浜市職員が調査し、
個体を採集。
8/4 環境省関東地方環境事務所が専門家に同定を依頼。
8/6 当該アリについて、専門家がアカカミアリであることを確認。
横浜市から、地元関係団体、関係事業者等に注意喚起。

2 今回確認されたアリについて

横浜港で確認されたアリは、アカカミアリの働きアリ約 20 個体です。

3 今後の対応

横浜市は引き続き、環境省等と協力して、アカカミアリが確認された地点を中心に調査を実施し、疑わしいアリを発見した場合は防除を実施します。

4 事業者の皆様へ

(1) 注意点について

- ・アカカミアリを刺激すると刺される場合があります。
- ・アカカミアリと疑われるような個体や巣を見つけた際は、刺激（アリを踏もうとしたり、巣を壊したり等）しないでください。

(2) 刺されたときの対応について

- ・まずは安静（20～30 分程度）にし、容体が急激に変化することがあれば、最寄りの病院を受診してください。
- ・受診の際は、「アリに刺されたこと」「アナフィラキシー（重度のアレルギー反応であること）の可能性があること」を伝えてください。

(図) 今回アカカミアリが発見された場所



(写真) 今回確認されたアカカミアリ

(横浜市環境科学研究所撮影)



お問い合わせ先

(特定外来生物一般に関する事)	環境創造局政策課環境プロモーション担当課長	池谷 庸子	Tel 045-671-3830
(アカカミアリ等の簡易判断に関する事)	環境創造局環境科学研究所長	百瀬 英雄	Tel 045-453-2550
(港湾施設における対応に関する事)	港湾局管財第一課長	鈴木 康弘	Tel 045-671-7179